



安全・安心な学校と地域づくりを目指して

去る1月30日（水）、「三ヶ島中学校区安全・安心な学校と地域づくり推進支部委員会」が開かれました。三ヶ島中学校区の小・中・高等学校、大学からの代表者をはじめ、各区長、防犯協会、民生委員の方々などがそろった、本年度2回目の会議です。

各代表からは、これまでの取組や安全についての現状報告がありました。各地域で地道な活動をしていただいているおかげで、大きな事件・事故は起こっていないというものの、露出狂や不審者による子どもへの声かけの事案などは、頻発していることがわかりました。また、子どもたちの交通マナーの悪さについての御指摘もいただきました。



本校でも、子どもたちの登下校の様子について、保護者や地域の方々からしばしば御心配の声が寄せられています。安全に対する意識やルール・マナーなど、まずは子ども自身が身に付けなければならないものです。保護者・地域の方々の厳しい指導と温かい声かけにより、子どもたちの安全を確保していただきますようお願いいたします。

19年度三ヶ島中学校区安全・安心な学校と地域づくり推進支部委員会の合言葉

どうしたの？ えらいね と一声かける やさしい地域に！

「放課後あそび」…指導者がバトンタッチ

御案内のとおり、本校では、昨年度から早稲田大学前橋明研究室の学生の御協力による「放課後あそび」を月3～4回実施しています。しばらく前から、初代の指導者である4



年生から3年生に引き継ぎが行われ、現在は完全にバトンタッチされています。1月30日、久しぶりに遊びに参加した前リーダーの江川真由美さんは、「3年生のところに自然に集まっている子どもたちの姿を見てうれしくなった。」と話してくれました。しかし、その表情からは、ずっと心をつないできた本校の子どもたちとの別れが近づいた寂しさが伝わってきました。学校としても寂しい思いでいっぱいです。長い間お世話になりありがとうございました。